

平成29年度

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検及び評価報告書

平成30年9月

根室市教育委員会

目 次

I	はじめに	P 1
II	点検評価の基本方針	P 1
III	点検評価の結果	P 3
	(1) 「確かな学力向上」に向けた取組の推進	P 3
	(2) 「豊かな人間性の育成」に向けた取組の推進	P 8
	(3) 特別支援教育の充実	P10
	(4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実	P13
	(5) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実	P16
	(6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実	P19
	学識経験者の意見（総評）	P33

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされております。

本報告書は、同法に基づき教育委員会が行った平成29年度事務事業の点検評価の結果をまとめたものです。

II 点検評価の基本方針

1 目的

教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表します。

この点検評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検評価の対象及び方法

本点検評価の対象は、前年度（平成29年度）の事務事業の実績とし、その範囲は、学校での学習指導・生徒指導に関することや、社会教育に関することなど、地教行法第21条で「教育委員会の職務権限」と規定されている事務をはじめ、市長の補助執行として行っている事務など、本委員会が所管する全ての事務事業としています。

当教育委員会では、毎年、教育行政の取組方針を教育行政方針として策定し、市議会に示しておりますが、本報告においては、平成29年度の教育行政方針に掲げられた主な施策の実施状況等を参考としながら、その管理及び執行の状況について点検評価を実施いたしました。

3 学識経験者の知見の活用

本点検評価の実施にあたっては、地教行法第26条第2項の規定により、3名の学識経験者から個別に意見を伺い、その知見の活用を図りました。

なお、学識経験者は、学校教育分野及び社会教育分野において教育や人材育成に携わり、高い見識を有する方から選任し、幅広い観点での知見を活用するよう努めたところです。

○ 松 井 信 輝 氏 元 根室市立花咲小学校 校長

○ 佐 藤 美喜夫 氏 根室市社会教育委員

○ 佐 藤 孝 行 氏 根室市PTA 連合会 副会長

〔参 考〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅲ 点検評価の結果

(1)「確かな学力向上」に向けた取組みの推進

執行方針

現在の根室市の児童・生徒の学力につきましては、直近の全国学力・学習状況調査の結果においても、目標とする全道・全国平均には依然として達しておらず、引き続き、学力の向上に取り組み、子どもたちが社会を生き抜く力を育てていくことが必要です。

- そのため、これまでの取組方針に代わり、このたび、平成29年度から3か年を取組期間とする新たな「根室市確かな学力向上に関する取組方針」を策定したところであり、今後、この新取組方針に基づき、①「わかる・できる・楽しい授業」の実践、②「自ら学ぶ意欲」の向上、③「授業力」の向上、などを柱としながら、子どもたちの学力の向上に取り組んでまいります。
- 中でも、「わかる・できる・楽しい授業」の実践につきましては、引き続き、学力向上等補助教員を活用した習熟度別指導、チーム・ティーチングなどにより、個に応じたきめ細かな指導に努めるほか、国や北海道における各種の学力向上支援事業についても、さらに積極的な活用を図ってまいります。
- また、これまで小学校1年生から中学校2年生までで実施しております標準学力検査（CRT）の実施対象を中学校3年生までに拡大し、小学校入学から中学校卒業までの経年変化分析を可能とするとともに、全国学力・学習状況調査をはじめとする各種調査の分析結果と合わせて、個々の児童・生徒の課題を明らかにしながら、各学校の状況に応じた指導方法の工夫改善などの取組を進めてまいります。
- また、「自ら学ぶ意欲」の向上につきましては、学習意欲や学習時間などに問題を抱える児童生徒が多い現状から、「生活リズムチェックシート」の活用など、家庭での学習習慣や規則正しい生活習慣の定着化に、学校・家庭・地域が一層連携して取り組むほか、夏休み期間中に協働学習を行う学習サポート事業では、引き続き異年齢交流を取り入れ、子どもたちが、自ら考える力、集団で考える力を身につけるとともに、学びの喜びを体得することができる、質の高いグループ学習に取り組んでまいります。

主な事業内容等

事業名等	場所等	参加者等	備考
学校評議員の全校委嘱	市内小中学校	48名	
学校評議員会議の開催	市内小中学校	29回	
学校評価の実施	市内小中学校	15校	
初任段階研修	各学校他	28名	法定研修 (1年次8名、2年次5人、3年次7名、 4年次8名)
中堅教諭等資質向上研修	各学校他	3名	法定研修
各種教員研修	北海道教育研究所他	186名	
校内研修の実施	市内小中学校	全校	
指導主幹の学校経営訪問	市内小中学校	24回	
指導主事等の学校派遣	市内小中学校	29回	
校長連絡会議	総合文化会館	12名	13回
教頭連絡会議	総合文化会館	15名	12回
北海道教育大学釧路校新入生研修	花咲港小学校 海星小中学校 落石小学校 厚床小中学校	28名	大学生研修
北海道教育大学釧路校へき地校体験実習	花咲港小学校	3名	大学生研修
根室市教育研究会との連携	各小中学校など		
学力向上補助教員	北斗小学校 成央小学校 齒舞小中学校	1名 1名 1名	
巡回指導教員の配置	成央小学校	1名	北斗小、花咲小に派遣
指導方法工夫改善教員定数加配	北斗小学校 花咲小学校 光洋中学校 柏陵中学校	2名 1名 2名 2名	教員定数の加配
退職教員等の外部人材活用事業時間講師の配置	北斗小学校 花咲小学校 柏陵中学校	1名 1名 1名	

理科備品整備事業	各小中学校	15校	小 1,081千円 中 1,232千円
総合学習推進事業	各小中学校	15校	
水産教育の推進	歯舞小学校 歯舞中学校	101名 46名	
語学指導の充実	小学校8校 中学校7校	1名 1名	民間人講師 外国語指導助手
全国学力・学習状況調査の実施	各小中学校	193名 191名	小学校6年 中学校3年
夏休み学習サポート教室の開催	別当賀夢原館	1名 7名	小学5~6年 中学3年
児童生徒支援教員の加配	成央小学校 光洋中学校 柏陵中学校 啓雲中学校	1名 1名 1名 1名	
キャリア教育の実施	市内中学校	7校	職場体験学習等
愛鳥活動モデル校	厚床小学校	23名	北海道指定
スクールバスの運行	11路線 9小中学校	179名	
遠距離通学費の支給	北斗小学校 光洋中学校	3名 7名	
学校健診の実施	各小中学校	1,783名	
全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施	各小中学校	201名 199名	小学校5年 中学校2年

施策評価

- 学校評価については、自己評価及び学校関係者評価が全ての小中学校で実施されており、学校の経営改善に効果をあげている。
- 教職員研修については、教育公務員特例法などに規定する法定研修である初任段階研修、10年経験者研修などを活用し、関係する教職員が積極的に研修に参加し研鑽を積んでいる。また、北海道立教育研究所主催の研修や校内研修などを通じて教職員の育成が図られているほか、夏季休業期間中に北海道立教育研究所との共催により研修会を実施し、教員の指導力向上に努めている。
- 北海道教育委員会と連携し、小中学校の要請に応じ、全校へ教育局の指導監及び指導主事並びに市教委の学校教育指導主幹を派遣し、学校教育に係る専門的事項の指導を実施し、学校教育の充実を図った。

- 校長会、教頭会との連絡会議を毎月開催し、教育委員会からの指示、連絡事項を直接伝え、校長、教頭との連携を密にして円滑な学校教育の実施に努めている。
- 北海道教育大学釧路校との協定に基づき、へき地校において同大学新入生研修や体験実習を受け入れ、へき地校の実態に直接触れることで、今日の教育の諸課題に対応する高い教育実践力・諸課題解決能力を持つ教員の育成に寄与している。
- 北海道公立小中学校教職員広域人事要項に基づき、広域人事を実施し、他管内との人事交流を実施しており（中堅教員の受入れ1名、若手教員の派遣2名）、今後においても、学力向上や生徒指導等教育課題の改善を目的とし、人事交流を推進する必要がある。また、管内においても、根室市の教職員の年齢構成が偏り若年教員が多いことから、さらに教職員人事を通じて年齢構成の適正化を図る必要がある。
- 市内の教職員で組織する根室市教育研究会の研修活動は、教職員の資質向上や教師力の向上など学校教育に果たす役割が大きいことから、同研究会との連携に配慮するよう努めている。
- 標準学力調査（CRT）の結果に基づき、児童生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握し、各学校における学習指導の充実に資するため、教職員を中心とした根室市学力向上プロジェクト推進会議を設置し、調査結果分析、指導方法の工夫改善及び授業改善に努めている。
- 「根室市確かな学力向上に関する取組方針」に基づき、各学校において、家庭での学習習慣定着の必要性を保護者に訴えるなどの取組を行った。
- 指導体制の充実を図るため、市費により導入している学力向上等補助教員を平成29年度は北斗小学校・成央小学校・歯舞小中学校・柏陵中学校の4校に各1名配置し、習熟度別指導、チーム・ティーチング指導、放課後補習指導や長期休業中の補習等を行い、きめ細かな指導と確かな学力の定着を図った。
 しかし、年度当初から教員に欠員が生じ、多方面へ要請行動を行う等の人材確保に努めた
 が、通年で配置することができず、人材確保に課題が残った。
- 指導経験の豊富な教員1名を巡回指導教員として、拠点校となる成央小学校に配置し、北斗小学校及び花咲小学校併せて3校の若手教員の指導力向上を図った。
- 小学校2校、中学校2校で教員定数の加配を受けて、指導方法の工夫改善事業を実施し、習熟度別指導やチーム・ティーチングの実施により、生徒個々に応じたきめ細かな学力の定着を図った。
- 各学校において、学力向上に向けた具体的な取組みを学校経営方針に位置付けさせた。

また、各学校の進捗状況や効果について、定期的にヒアリングを実施した。

- 国の補助を得て、全ての小中学校において理科備品整備を実施したが、より効果的な学習環境を確保するため、今後も継続的に整備を続けていく必要がある。
- 朝読書、朝学習、補習授業を全ての小中学校で実施した。
- 総合的な学習の時間を推進し、地域の人材を講師として活用し、自ら学び自ら考える力の育成を図った。
- 特色ある学校づくりの一貫として水産教育を実施している学校及びPTAに対し、その活動を支援し産業教育の振興を図った。
- 語学指導の充実と国際理解を図るため、英語を母国語とする外国語指導助手を招致し、市内小中学校に派遣して、語学の習熟と国際理解の推進に大きな成果をあげた。
- 小学校の外国語活動のために市内の英会話スクールと契約し、小学校へ外国人講師を派遣し、児童が外国語について興味関心を持つよう取組を行った。
- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、引き続き、学力向上に向けた取組を徹底するとともに、学校全体の学習環境の見直しや正答率の低い児童生徒の学習状況を改善するなどの取組を行った。
- 夏休み学習サポート教室については、参加児童生徒数の減少に伴い、平成28年度に従来の総合文化会館での教室学習から、別当賀夢原館での宿泊型のサポート教室に変更し、異年齢交流学習をはじめ、軽スポーツ交流の時間も取り入れるなど新たなカリキュラムにより、児童生徒が主体的に学ぶ態度の育成を図ったが、参加者は8名に留まり、効果は限定的であったことから、平成29年度をもって事業を終了することとした。
- 国の教職員定数の加配を受け、成央小学校・光洋中学校・柏陵中学校・啓雲中学校の4校に各1名教員を配置し、児童生徒の生徒指導上の支援の改善を図った。
- 子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会人・職業人として自立していくことができるよう、キャリア教育の推進が強く求められており、全ての中学校で職場体験等を実施した。
- 厚床小学校では、学校周辺の森を自然学習の場として活用し、北海道の愛鳥活動モデル校の指定を受け、野鳥観察などを通して自然や環境に対する学習を深めるなど、著しい成果をあげている。
- 通学の負担の大きい地域の児童生徒に対するスクールバスの運行や路線バス代の支給を行い、通学の安全の確保を図った。
- 学校健診の実施を通じて、児童生徒の健康の増進を図り、学校教育活動の円滑な実施に大きな効果をあげている。

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学校第5学年、中学校第2学年）において、小学校では男女ともに全国平均を上回る種目も見られたが、中学校では男女ともに全種目が全国平均を下回る結果となったことから、各中学校において、喫緊の課題として体力・運動能力向上対策を検討する必要がある。
- 学校においては、「生活リズムチェックシート」を活用し、家庭での学習習慣や規則正しい生活習慣の定着化に取り組んだ。

しかし、全国学力・学習状況調査の結果において、テレビゲーム等のゲーム関係や携帯電話・スマホ等の利用に使われる時間が著しく多く、学習活動や家庭とのコミュニケーションづくりに大きな影響を及ぼしていることから、今後も、学校・家庭・地域がより一層連携し、取り組んでいく必要がある。

（２）「豊かな人間性の育成」に向けた取組みの推進

執行方針

子どもたちが、思いやりの心や感謝の気持ちを育み、互いを尊重し合いながら、規範意識を向上させ、社会の一員として成長していくためには、学校・家庭・地域が連携しながら、心身の健やかな発達を支えていくことが大切です。

- そのため、まず、心の教育にかかわりましては、道徳が小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から、特別の教科となることを見据えながら、いじめ問題の対応や児童生徒の発達の段階を踏まえ、教育活動全体を通じて道徳教育を体系的なものとするよう充実に努めてまいります。
- また、昨年策定いたしました「根室市いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域・関係団体との連携体制の充実に努めながら、スマートフォン等の「ネットいじめ」をはじめとする、いじめ防止のための啓発・学習などに取り組む、常に緊張感を持ちながら、いじめの根絶を目指してまいります。
- さらに、北方領土問題の学習を深め、未来に向けて考えていく態度を養うため、引き続き、各学校において副読本や各種教材、資料コーナー等の活用を図りながら、返還要求運動原点の地としての積極的な取組を継続するとともに、郷土を愛し、発展させていこうとする気持ちを育ててまいります。

主な事業内容等

事業名等	場所等	参加者等	備考
根室市青少年問題協議会 いじめ対策専門部会	総合文化会館	14名	
いじめ相談室の開設	青少年相談室内		
インターネットを活用したいじめ 相談の実施	根室市ホームページ		
電子メールを活用したいじめ相談 の実施	根室市ホームページ		
子ども会議の開催	総合文化会館	34名	
スクールカウンセラー活用事業	成央小学校 柏陵中学校 啓雲中学校	3名	北海道委託事業
適応指導教室『ふれあいくらぶ弥 生』の開設	ふれあいくらぶ弥生	1名	
人権擁護委員会事業の取り組み	各小中学校		人権作文、人権の花
子ども安全ネットによる情報発信	電子メール	18回	
防犯教育の推進	各小中学校		
子ども110番の家	根室市内	176箇所	
北方少年少女塾への参加	小学校7校 中学校5校	274名 232名	北斗小・花咲小・花咲 港小・落石小・成央小・ 歯舞小・海星小・光洋 中・柏陵中・歯舞中・ 啓雲中・海星中
北方四島交流訪問事業への参加	中学校2校	7名	柏陵中・啓雲中
北方領土弁論大会への取り組み	7中学校	10名	光洋中・柏陵中・落石 中・厚床中・歯舞中・ 啓雲中・海星中

施策評価

- 北海道教育委員会のスクールカウンセラー事業を活用し、成央小学校・柏陵中学校・啓雲中学校にスクールカウンセラーを配置し、生徒の悩み相談や、保護者の相談、教員へのサポートを通じ、安心して学校生活を送ることができるよう活動を行い、配置校から高い評価を得ている。
- いじめ相談室の開設やインターネットや電子メールでのいじめ相談ができるホームページを開設し、面談、電話を含め相談しやすい環境を引き続き実施した。

- いじめや問題行動への対応について、学校間、教員間で意識に差があり、被害者側とトラブルに発展することがあることから、さらに校内指導体制を徹底し、保護者や地域と連携を図りながら、全員一致で毅然とした対応を取ることが必要である。
- 「いじめのない明るい学校づくり」をテーマに子ども会議を開催し、子どもたちが主体的に考える機会をつくとともに、児童会・生徒会が中心となって課題を解決するための自治力向上を図った。
- 適応指導教室を開設し指導員及び相談員を配置して、各学校と連携を図りながら不登校の問題を中心に児童生徒及び保護者に対する相談活動などにより支援にあたったが、引きこもり傾向の強い不登校児童生徒に対しては、適切な働きかけをさらに継続していく必要がある。
- 学校、北海道教育委員会、子ども子育て課、児童相談所、警察などと連携を図り児童生徒の問題行動及び児童生徒に対する虐待の疑いについて迅速かつ適切な対応を行った。
- 人権擁護委員会と法務局の協力により人権作文と人権の花運動を実施し、児童生徒が思いやりの心を体得し豊かな人権感覚を身に付けることに一定の効果をあげている。
- 子どもの緊急避難場所となる子ども110番の家について、市内176箇所を登録して一定の効果を上げているが、引き受けていただいている商店などの廃業により、登録件数が減少している。平成29年度においては、前回の登録から相当期間経過しているため、名簿の更新とステッカーの再交付を行った。
- 市内小中学校では、警察と連携して防犯教室を積極的に実施し、児童生徒に犯罪を避ける力をつけさせるとともに、教職員も訓練を通して危機管理能力の向上を図った。
- 子ども安全ネットによる電子メールの発信により、不審者情報の共有化と保護者の防犯意識の高揚を図った。
- 様々な対策をとっているにも関わらず、不審者による声掛け事例が後を絶たないため、より一層関係機関が一体となった安心安全体制の確立を図ることが必要である。
- 小中学校においては、北方領土に関する展示コーナーの設置、北方少年少女塾への積極的な参加や中学生の弁論大会などを通じて北方領土学習の推進を図った。

(3) 特別支援教育の充実

執行方針

根室市においては、特別な支援を必要とする児童生徒の割合が増加しており、こうした子どもたちに対しては、個々のニーズに応じた早期からの一貫した支援を図ることが大切です。

- そのため、こうした児童生徒の学習活動を支援し、教員の円滑な授業をサポートする特別支援教育支援員について、新たに、教員が同時に複数学年の指導を行う複式学級を有する学校にも配置することとし、小規模校における教育環境の充実を図ってまいります。
- また、指導・支援に携わる関係者の研修会を開催し、支援方法等について理解を深めるとともに、市独自の「個別の教育支援計画」の基本ツールである「子育てファイル『りんくす・ねむろ』」につきましては、引き続き、全市的な普及や効果的な活用に努め、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行ってまいります。

主な事業内容等

事業名等	場所等	参加者等	備考
特別支援学級の設置	各小中学校	69名 28名	小学校7校21学級 中学校6校16学級
通級指導教室の設置	花咲小学校	48名	
通級指導の充実	花咲小学校	4名	担当教員の加配
特別支援教育コーディネーターの指名	各小中学校	15校	
特別支援教育校内委員会の設置	各小中学校	15校	
特別支援教育支援員の配置	市内9校	9人	
介助業務員の配置	花咲小学校	1名	
就学指導の実施		73名	
特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業	12校	58人	児童生徒の指導に対する支援
子ども発達支援事業・専門支援事業	9校	31人	専門家による学校支援
巡回教育相談の実施	花咲小学校	12名	
根室市教育支援委員会の開催		36名	教育行政関係2名 保健行政関係1名 福祉行政関係4名 学校関係者20名 福祉施設関係4名 民間幼稚園・保育所5名
特別支援教育専門員の配置		1名	H29.6～H29.10不在
特別支援教育専門員の研修		1回	
根室市育ちと学びの相談室『りんくす』			

の設置			
子育てファイル「りんくす・ねむろ」の配布		329冊	母子手帳配布時及び中学3年生以下転入時に配布
子育てファイル「りんくす・ねむろ」の配布		196冊	母子手帳配布時及び中学3年生以下転入時に配布
根室市特別支援教育研修会		102名	市主催の研修会

施策評価

- 北海道教育大学釧路校教授を講師に招き、全教職員を対象とした研修会を開催し、通常学級における教育支援について理解を深めた。
- 特別支援教育支援員を、市内9小中学校に拡充して配置し、通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒への支援を行った。
- 通常学級における学習活動上の支援を必要とする児童に対し、介助業務員を配置して支援を行い、学校における教育環境の整備に努めた。
- 入学や進級にあたって教育措置の検討が必要な幼児・児童生徒に対し、教育相談や就学指導を行い適切な教育措置の決定を行った。
- 道立特別支援学校からのパートナー・ティーチャーの派遣により、特別に支援を必要とする児童生徒について、より専門的な助言・援助を受け、特別支援教育の質の向上を図った。
- 北海道特別支援教育センターからの相談員の派遣により、障害を持つ児童生徒の状況や就学についての保護者相談を実施し、適正な就学の決定に資することができた。
- 特別支援教育の要となる特別支援教育コーディネーターの専任化を含め、特別支援教育推進のための教員の加配措置について、継続して国に働きかける必要がある。
- 花咲小学校に開設の通級指導教室に担当教員を4名配置し、発達障がい児に対する特別支援教育を行った。高等学校における通級指導が制度化させることに伴い、切れ目の無い継続した支援を可能とするため、中学校における通級開設の実現に向けて、調査・研究を進める。
- 市が実施する子ども発達支援事業を活用し、特別な支援を必要とする児童生徒が、作業療法士等の専門的支援を受ける機会を確保した。
- 乳幼児期からの一貫した支援を目指し、教育・保健・福祉分野の多岐にわたる相談業務や関係機関との連携体制の構築、特別支援教育の充実を図るため、「根室市特別支援教育専門員」を教育委員会事務局に配置し、「根室市育ちと学びの相談室『りんくす』」を設置した。また、

専門員の退職に伴う不在期間においては、規模の縮小等により影響が生じることが無いよう学校教育指導主幹や子ども子育て課の社会福祉士などと連携して対応した。

- 市独自の「個別の教育支援計画」の基本ツールとなる「子育てファイル[®]りんくす・ねむろ[™]」を、乳幼児から中学生までを持つ全家庭に配布した。

(4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実

執行方針

児童・生徒数の減少や、学校施設の老朽化が、本市において進む中であって、今後とも、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、教育環境については、計画的な整備を進めていくことが求められております。

- 小中学校の適正配置につきましては、昨年策定いたしました根室市立小中学校適正配置計画に基づき、保護者、地域の方々に対し丁寧な説明を続け、ご理解を求めるとともに、ご意見・ご要望にも耳を傾けながら、計画の着実な推進を図ってまいります。
- 学校と地域とが相互に連携・協力した活動をさらに展開していくため、「社会とのつながりを意識した」学校教育や、地域が学校を応援する役割など、コミュニティと学校のかかわりの在り方について検討を進めてまいります。
- 快適な教育環境を整備するため、北斗小学校の和式トイレの一部を洋式に変更する改修工事を実施するとともに、昨年度、国の補助決定の遅れから実施を見送りました落石中学校及び厚床中学校のグラウンド改修工事につきまして、学校と協議のうえ適切に実施してまいります。
- 学校におけるICTの利活用につきましては、現在、学校関係者を主なメンバーとする委員会を設置し、本市における情報教育の方向性について検討のうえ、教育情報化推進計画の策定作業を進めているところであり、今後、授業を効率的、効果的に進めるうえで望ましいICT環境等のあり方を見据えながら、学校における情報化を推進してまいります。
- 学校給食につきまして、根室市を応援していただいている全国の方々からの貴重な「ふるさと応援寄附金」を活用し、地場食材や道産食材を積極的に活用する「ふるさと給食の日」を設定して地産地消の取組を進め、海の恵みの感謝と地場産業の成り立ち、食材が持つ栄養価など、さまざまな角度から児童生徒の食育を推進してまいります。

主な事業内容等

事業名等	場所等	参加者等	備考
安全な学校給食の実施	各小中学校	1,783名	
学校安全計画及び避難マニュアルの策定	15小中学校	—	
根室市学校防災等連絡会議の開催	総合文化会館	16名	
通学路の安全確保	4小学校	6箇所	落石小・厚床小・ 成央小・海星小

【市街地地区適正配置に係る説明会開催状況】

月日	内容	参加者	場所
6月29日	光洋中学校PTA説明会実施	22名	光洋中学校
6月30日	柏陵中学校PTA説明会実施	19名	柏陵中学校
7月4日	北斗小学校PTA説明会実施	36名	北斗小学校
7月6日	啓雲中学校PTA説明会実施	17名	啓雲中学校
7月7日	花咲小学校PTA説明会実施	9名	花咲小学校
7月10日	成央小学校PTA説明会実施	5名	成央小学校
7月11日	花咲港小学校PTA説明会実施	10名	花咲港小学校
11月16日	町内会説明会実施（北斗・柏陵校区）	10名	総合文化会館
11月17日	町内会説明会実施（花咲・啓雲校区）	12名	総合文化会館
11月20日	町内会説明会実施（成央・花咲港・光洋校区）	14名	総合文化会館
11月28日	町内会説明会実施（花咲港連合町会）	19名	花咲港会館
1月21日	町内会説明会実施（駒場中央町会）	8名	総合文化会館

【厚床地区小中学校併置校開校準備委員会等の開催状況】

月日	内容	参加者	場所
5月18日	第5回厚床地区小中併置校開校準備委員会の開催 ・落成記念式典について ・記念碑及び記念植樹等について	20名	厚床小学校

6月 8日	第6回厚床地区小中併置校開校準備委員会の開催 ・落成記念式典について ・記念碑及び記念植樹等について	17名	厚床小学校
-------	--	-----	-------

【学校施設や教員住宅の整備のための主な取組み】

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費
小学校トイレ整備事業	北斗小学校トイレ改修設計業務委託	3,456
厚床中学校校舎等大規模改造事業	落石中学校屋体耐震補強・大規模改修工事	72,792
落石中学校グラウンド改修事業	グラウンド排水改修工事	35,424
小中学校消防用設備等整備事業	消防用設備等改修工事	3,347
小学校校舎及び教員住宅営繕事業	市内8小学校・教員住宅の営繕（主なもの） ・北斗小学校オイルサーバー設置工事 ・各学校暖房機器修理 ・各教員住宅補修	12,141
中学校校舎及び教員住宅営繕事業	市内7中学校・教員住宅の営繕（主なもの） ・海星中学校屋内運動場ライン改修工事 ・海星小学校屋内運動場内壁補修	11,021
小学校教育環境整備事業	・小学校屋外遊具の整備（新規設置） ・児童用机の天板購入及び黒板の貼り替え等 整備	11,136
中学校教育環境整備事業	生徒用机の天板購入及び黒板の貼り替え等 整備	1,159
教職員住宅環境整備事業	教員住宅解体工事	4,320

施策評価

- 小中学校の適正配置については、新たな「根室市立小中学校適正配置計画」をもって、市街地地区4小学校及び3中学校のPTAを対象に説明会を開催し、様々なご意見をいただいた。

また、総合文化会館を会場に全町内会を対象とした説明を3日間に渡り実施したほか、各町内会に対し説明の機会をいただくよう依頼文を送付し、1町内会に対し説明会を実施した。

今後も、他の町内会にも説明会を開催し、適正配置の推進に向けて理解を深めていく。

- 小学校トイレ整備事業については、改修内容を決定する設計委託業務を完了した。
これをもとに、平成30年度に改修工事を実施する。

- 落石中学校グラウンド及び厚床中学校グラウンド改修工事については、国庫補助の採択時期により、前年度から繰り越しての実施となった。

グラウンド改修後は雨量にもよるが、おおむね降雨の日の翌日から使用することが可能な状態となっており、教育環境の改善が図られた。

- 小学校に設置している遊具について、専門業者による点検に基づき劣化の著しい遊具の撤去を行い、各学校からの要望に基づきすべり台、のぼり棒の設置を行った。
- 教職員の住環境については、民間活力を活用した新築住宅の整備を目指し、老朽化した空き家住宅を解体し建設用地の確保に努めた。
- 根室市通学路安全プログラムに基づき、関係機関と連携して通学路における危険箇所の合同点検を実施し、通学路の安全確保を図った。
- 根室市における教育情報化の方向性を明らかにするため、平成30年2月に根室市教育情報化推進計画を策定した。
- 今年度は、地場食材や道産食材を活用した「ふるさと給食の日」を4回実施した。
実施日には、児童生徒に使用食材に関するパンフレットを配布し、食育の推進を図った。
- 給食の安全と、地産地消をさらに進めるため、新たな給食調理施設の建設が今後の課題であり、検討を進める必要がある。

(5) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実

執行方針

大人や異年齢の友人との交流を通じて、さまざまな体験を積み重ね、子どもたちの豊かな感性や情操を育成するためには、地域コミュニティが中心となり、地域で子どもを育てる取組の充実を図ることが大切です。

- そのため、今後とも、市内の企業や市民団体、社会教育団体などと連携・協働しながら、地域の専門的な知識・経験を有する人材を活用した教育活動等、支援体制の構築に努め、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進めてまいります。
- また、子どもたちが豊かな人間性や社会性を育むため、異年齢の仲間とさまざまな体験活動などを積極的に行うことができるよう、地域住民や学校、関係団体などと協働しながら、各種事業を着実に推進するとともに、引き続き、黒部市において「根室市中高生友好のかけはし事業」を実施し、両市の交流や地域理解を一層深めながら、青少年活動リーダーの養成に取り組み、青少年の健全育成に努めてまいります。
- 次に、子どもの放課後教室につきましては、留守家庭児童会の登録児童数が増加傾向にあ

りますことから、北斗放課後教室の活動教室を増設し定員を拡大するとともに、引き続き、指導員の確保等、体制整備に努め、すべての子どもたちが安全・安心で多様な体験・活動を行うことができる居場所づくりを目指してまいります。

- さらに、子どもたちの読書活動の推進につきましては、市民の皆様のご理解を背景に、乳幼児への「ブックスタート事業」及び小学校1年生児童への「セカンドブック事業」に今後とも取り組むとともに、家族での「家読（うちどく）」の普及や図書館の利用促進、各種の読書普及活動や地域連帯での子どもたちの読書環境づくりなどを進めるほか、市制施行60周年を記念して親子で参加する絵本講演会を開催するなど、子どもたちの読書習慣の形成や読書意欲の向上に努めてまいります。

主な事業内容等

【子どもの放課後活動】

事業名等	場所等	開催日	参加者等	備考
「教えて地域の先生」	市内小中学校	4月～3月	255名	4回
人材バンク事業	市内	4月～3月	201名	放課後教室関係、図書館ボランティアなど
子ども会リーダー研修	総合文化会館他	6/24～ 12/3	76名	6回
第33回子ども長靴アイスホッケー大会	市営アイスホッケーリンク	2/4	79名	10チーム
第32回子ども百人一首カルタ大会	青少年センター	1/21	43名	14チーム
放課後教室・西浜児童会館の開設	放課後教室等	4月～3月	38,074名	西浜児童会館は、指導員が配置できず休館
歯舞児童教室の開設	歯舞児童教室	4月～3月	8,829名	
花咲港児童教室の開設	花咲港児童教室	4月～3月	2,383名	
放課後子どもプラン事業	放課後教室等	4月～3月	5,512名	118事業
ねむろわんぱくチャレンジ事業	各施設等	4月～3月	ブロンズ賞 27名 シルバー賞 9名 チャレンジ大賞 10名 マイスター 12名	
子どもの日のつどい	総合文化会館	5/3	1,200名	
高齢者とのふれあい事業	西浜児童会館	5/13 ～2/3	156名	5回
根室市中高生友好のかけはし事業	黒部市等	5/27～ 2/19	9名	事前研修4回、本研修(8/4～8)

			事後研修3回 (学校発表含む)
--	--	--	--------------------

【読書活動の推進】

事業名等	開催日時	参加者等	備考
「ブックスタート事業」	毎月	回数 12回 対象親子173組	参加率 100%
「セカンドブック事業」	11/7 ~24	市内8小学校 1年生児童=158名	15冊の図書リストから 希望の1冊を贈呈し、趣旨 を含め読書普及した。
ちいさい子のおはなし会	毎週火曜	回数 45回 参加人数 450人	乳幼児238人 大人212人
土曜おはなし会（ボランティア）	毎週土曜	回数 45回 参加人数 528人	ボランティア延べ人数 138人
「こどものつどい」	年5回	回数 5回 参加人数 358人	子ども 187人 大人 171人
「親子読書会」の育成	通年	例会参加親子 延べ264人	2会・9組=22人
読書推進 学校等訪問事業 (うち「乳幼児親子向けお はなし会」)	随時 (年4回)	件数 23件 参加人数 1,100人 (内) 保育所・小学校・放課後教室 = 19件・956人 子育て支援施設 = 4件・144人	
図書館訪問・調べ学習 受入れ	通年	保育所・小中学校 11件・410人	
学級文庫ブックバンク事業	5~11月	53クラス 1,136人	小学校41クラス 中学校12クラス

施策評価

- 「教えて地域の先生」は、小中学校の授業の中で、ラジオ体操や浴衣の着付けなどの指導を地域のボランティア講師が行い、「地域の先生」として学校と地域の交流を図り「子どもは地域で育てる」環境の醸成に努めた。

- 「子ども会リーダー研修会」は、清掃ボランティアや募金活動の他、宿泊研修に力又一体験やノロッコ号乗車などを加え、社会性や責任感、集団活動での協調性を養いリーダー育成に努めた。
- 留守家庭児童会の登録児童が増加していることから、北斗小学校の余裕教室1室を改修し、北斗留守家庭児童会の定員を20名拡大するとともに、放課後の居場所づくりとして児童が安全に遊べ、集団活動を通して健やかに成長できるよう、放課後教室・児童教室の運営に努めた。
- 西浜児童会館の指導員体制を整えることができなかったため、4月から臨時休館とした。
- 各放課後教室等において、各種事業に地域の方々を講師として、交通安全紙芝居や四島かるた、高齢者との交流などを実施し、地域との交流、異世代間交流などの推進に努めた。
- 「根室市中高生友好のかけはし事業」は、中高生9名を対象に、黒部市と根室市の歴史や自然などと昆布の生産・流通について事前研修を行い、2つの街の特色や違いを学習したうえで黒部市を訪問し、黒部市の産業や自然を学ぶとともに、将来の地域づくりの担い手となるリーダー育成を目指して根室市についての認識を深めることができた。
- 「ブックスタート事業」のフォローアップとして、個性あふれる学童期を迎えた子どもたちがあらゆる場所において、いつでも・どこでも読書に親しむきっかけ作りや読書習慣の形成を図ることを目的に、市内すべての小学校1年生児童に本を贈る「セカンドブック事業」を今年度も「ブックスタート事業」と同様に継続実施した。

図書館、学校、そして家庭が連携して取組を推進することにより、さらなる読書意欲を高め、家庭内での「読書コミュニケーション」（家読）を促進することができた。

- 「2017・第71回読書週間」行事の一環として、オホーツク風雲ワクワク団を招き「こどものつどい」を開催し、70名の親子が工作で「作る楽しみ」、パネルシアターと人形劇で「読書の楽しみ」を体験した。
- 昭和47年度から継続実施している「1年生親子読書会」は、少子化等に伴い、近年の応募が少ない状況を考慮して、平成27年度から実施している「セカンドブック事業」と連動させて、「1・2年生親子読書会」として募集を行った。

その結果、3組6名の親子で発会し、今年度末で4組8名となった。

より多くの会員を獲得するため、「1・2年生親子読書会コーナー」を1階閲覧室の絵本コーナーに設置し、例会時に紹介した本等の展示・貸出や次回例会の日程のお知らせなどを行い、活動周知に取り組んだ。

また、例会では「図書館書庫探検」「ぬいぐるみのおとまり会」など、親子で楽しみ、語り

合えるような企画を多く行い、親子のきずなを深める内容とした。

(6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実

執行方針

市民一人ひとりが心豊かで健康な生活を送るためには、生涯を通じて積極的に学ぶとともに、その成果を生かせる環境づくりが大切であり、それに合わせ、さまざまな学習機会や情報を提供する取組を進めていくことが必要です。

- そのため、まず、文化の振興につきましては、本年、本市が市制施行60周年、並びに、根室市総合文化会館事業協会の実施事業が100回目を迎える節目の年であることを踏まえながら、札幌交響楽団などの優れた芸術鑑賞機会の提供、さらには、根室市文化協会等と協働した市民の芸術文化活動の支援や発表機会の提供に取り組んでまいります。
- また、根室市において長年、地域の遺跡調査に取り組まれ、多大な功績を残されてきた北構保男氏から本年2月に寄贈いただきました埋蔵文化財につきましては、オホーツク文化の研究を推進するたいへん貴重な資料として分類調査を引き続き実施するとともに、今後の保存・活用方策を検討し、博物館活動の充実に努めてまいります。
- さらに、根室市が誇る国内有数の歴史遺産である国指定史跡「根室半島チャシ跡群」や天然記念物の動植物が国内外から注目されていることから、適切な保護や保存について根室市文化財調査委員会などと協議を進め、適切な活用にかかる情報発信等を進めてまいります。
- また、公民館活動につきましては、青少年から大人まで、市民の幅広い参画を目指し、市民ニーズの把握や新たな視点からの講座開設などを図りながら、引き続き、幼児期から高齢期にわたる学習機会の充実に取り組むとともに、市民の自主的・主体的な活動を推進し、地域コミュニティの活性化につながるよう努めてまいります。
- さらに、生涯学習の拠点施設である総合文化会館につきましては、懸案の屋上防水の大規模改修や自動給水装置の整備など、開館以来23年が経過した施設の維持整備を計画的に行ってまいります。
- 次に、スポーツの振興につきましては、市民だれもが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるよう、指導者養成やスポーツ少年団の育成・活動支援、ニュースポーツの普及や各種スポーツ教室の開催など、引き続き、スポーツ環境の整備に、各種団体と連携・協力のもと努めてまいります。

- また、本年度、当市において「国民体育大会軟式野球競技北海道ブロック予選会」が14年ぶりに開催されますことから、大会の成功に向け支援を行うほか、温水プール暖房設備や総合運動公園スケートリンク給湯ボイラーの改修など、施設の整備に努めてまいります。
- 次に、これまで市内のファミリー層など、市民の皆様にご参加いただき、マラソンを通じ健康・体づくりを目指してまいりました市民健康マラソン大会につきまして、根室市外の愛好者にもご参加いただく新たなマラソン大会として充実・発展を図ることとし、地域のスポーツ振興や地域づくり・地域振興に資するよう取り組んでまいります。
- また、総合体育館の建設に向けましては、さきに「ふるさと応援寄附金」から建設基金の増額をいただいたところであり、今後、体育館整備に関し広く意見を求めるため設置した市民委員会において、市民・利用者の意向調査など、ご意見・ご要望をお聴きしながら、建設にかかわる基本的な方向性を検討し、基本方針の策定を目指してまいります。
- さらに、温水プールにつきましては、今年度から教育委員会の直接管理とすることを契機に、改めまして、今後の活動や活用の在り方などについて利用者や競技団体とともに検討し、市民にとって魅力ある温水プールづくりを目指してまいります。
- 次に、図書館活動につきましては、市民にとって親しみのある読書・学習の拠点施設として、今後とも資料や利用環境の整備・充実を図るとともに、利用動向や社会的ニーズを踏まえながら、「おとな」の読書の推進や「高齢者図書お届けサービス」の実施など、今後とも、市民の読書の楽しみを支援してまいります。
- また、郵便局など生活に身近なところで、市民が気軽に本にふれることができる（仮称）「まちなかライブラリー」を創設し、地域との連携を深めながら、読書活動の推進に努めてまいります。

主な事業内容等

【社会教育活動】

事業名等	場所等	開催日	参加者等	備考
文化賞贈呈式	総合文化会館	11/3	71名	文化賞1団体
成人式	総合文化会館	1/7	202名	
若ものの学園	総合文化会館 他	5/27~1/20	70名	5講座7回
青年交流事業 ・ボウリング大会 ・バスツアー	ボウリング場 中標津町	1/27 2/4	33名 1名	

根室市青年国内研修事業	東京都	10/7~10/9	2名	東京よさこいJr.視察
-------------	-----	-----------	----	-------------

【別当賀夢原館利用状況】

項 目		平成29年度		
		利用件数	利用者数	
利 用	高校生以下	0 件	0 名	
	一 般	60 件	241 名	
	市 事 業	2 件	10 名	
	利 用 計	62 件	251 名	
使 用	専 用	一 般	24 件	349 名
		市の事業	6 件	153 名
		専 用 計	30 件	502 名
使 用	宿 泊	高校生以下	6 件	260 名
		一 般	21 件	373 名
		市の事業	1 件	20 名
		宿 泊 計	28 件	653 名
使 用 計		58 件	1,155 名	
合 計		120 件	1,406 名	

【文化会館活動】

事業名	場 所	開催日・回数	参加者等
舞台芸術鑑賞事業	総合文化会館	4/15、7/20、2/24 3回	1,715名
各種団体との連携による事業 ・第64回写真道展根室巡回展 ・平成29年度合唱のつどい	総合文化会館	10/5 ~ 10/10 11/19	542名 1,414名
グループ美術展	総合文化会館	6/23 ~ 6/25	918名
全道展道東地区展（根室特別展）	総合文化会館	8/16 ~ 8/20	626名
二科会写真展根室巡回展	総合文化会館	2/3 ~ 2/7	340名
2018 みんなでオンステージ in ねむろ	総合文化会館	2/18	550名
姉妹都市黒部市文化作品交流事業	総合文化会館	11/11 ~ 11/15	263名
児童生徒音楽大会	総合文化会館	9/24	831名
（その他） 大ホール使用状況	総合文化会館	50件	20,206名

小ホール使用状況	総合文化会館	37件	5,573名
----------	--------	-----	--------

【公民館活動】

事業名	場 所	開催日・回数	参加者等
パパママ学級(旧母親教室)	公民館	5/21~2/25 年4期	25名
あそびの広場 (旧親子で学ぶふれあい教室)	公民館	5/12~2/16 14回	465名
伝統文化・郷土芸能体験 プログラム	各小学校	6/8 ~ 3/2 8校	212名
成人学校(17講座)	公民館	6/6~3/29 年3期	200名
音訳ボランティア養成講座	公民館	参加者が無く中止	
寿大学	公民館 他	4/17~3/17 22回	806名
市民大学	公民館	10/13~10/27 3回	113名
女性セミナー	公民館 他	5/18~3/22 12回	245名
公民館分館講座	各分館	4月~3月 27回	153名
移動公民館講座	地域会館 他	4月~3月 25回	372名
根室市文化祭	公民館・文化会館	10/28~11/26	4,043名
子ども書き初め教室	総合文化会館他	1/5~1/11 6カ所	107名
北海道巡回小劇場	総合文化会館	9/19	352名
釧根「絵手紙」移動展	公民館	7/19 ~ 7/23	714名
道民芸術祭地方祭			
・管内民謡のつどい	別海町	7/30	130名
・管内文芸大会	根室市	9/9	31名
・管内総合芸術展	標津町	12/8~12/11	500名
芸術・文化情報提供事業	総合文化会館	毎月1回 12回	—
「大人のお宝ギャラリー&トーク セッション」~LM 楽器編~ ~ホビー・コレクション編~	総合文化会館	8/26~8/27 2/24~2/25	346名 536名

【総合文化会館整備】

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費
総合文化会館整備事業	屋上防水改修工事・自動給水装置等更新工事	143,971

【博物館活動】

事業名等	場所等	開催日	参加者等
企画展 「ねむろの動物大集合」	総合文化会館	5/3～5/10	1,383名
自然観察会 「サカイツツジを探して春の落石岬を歩こう」	落石岬	5/27	19名
市制施行60周年記念 「郷土出身の洋画家 佐野忠吉展」	総合文化会館	8/2～8/6	410名
史跡見学会 「根室市の遺跡を学ぶ」	温根沼2遺跡	8/19	40名
資料館ラボ Vol.6 「鳥に足環をつける理由 鳥の調査ちょっと体験」	フィールドイ ン風露荘	12/3	11名
歴史と自然の資料館講演会 「オホーツク人と鳥類の関係アホウドリに着目して」	総合文化会館	2/9	35名
学芸員講演会 「弁天島遺跡について」 「山形県鶴岡市の松本十郎関係資料」 「根室の高層湿原とエゾシカの脅威」	総合文化会館	3/23	51名
ねむろマチカドミュージアム展示	道の駅774 44 大地みらい信 金本店 望郷の家	4月～3月 年2回、展示 内容を更新	—
学校及び放課後教室と連携した出前講座	市内小学校等	4月～3月	606名 15回
藤野家文書解説会	総合文化会館	4月～3月 月2回	178名

国・道・市指定文化財巡視	根室半島一円	随時	—
歴史史跡標柱等巡視	根室半島一円	随時	—

【スポーツ活動】

事業名等	場所等	参加者等	備考
陸上競技審判技術説明会	青少年センター	25名	
第72回国民体育大会軟式野球競技 北海道ブロック予選会兼北海道体育 大会	根室市営球場	364名	24チーム
第29回根室市子ども会バドミント ン大会	青少年センター	43名	団体7チーム27 名、個人16人
第50回根室市総合体育祭	青少年センター他	913名	12種目
第1回最東端ねむろシーサイドマラ ソン	青少年センター～ 道道オホーツク折返	1,039名	ハーフ・10K・5K 3K・1K
第33回根室市小学生陸上競技大会	根室市運動広場	57名	
第25回市民ソフトバレーボール大 会	青少年センター	125名	19チーム
第44回根室市フットサル大会	青少年センター	360名	46チーム
第61回根室市スケート大会	総合運動公園 スケートリンク	64名	
第60回厚床-根室駅伝競走	旧厚床小～市役所	74名	一般7チーム 高校5チーム
第52回根室市子ども会卓球大会	青少年センター	23名	団体7チーム 個人23名
「ねむろギネス」に挑戦！記録会	河畔グラウンド他	44名	2種目
ふまねっとサポーター養成講演会	総合文化会館	24名	
トレーニング機械指導者養成講習会	温水プール	168名	毎月1回開催
小学生スケート教室	総合運動公園 スケートリンク	22名	

初心者ミニテニス教室	青少年センター	7名	
スポーツ少年団指導者育成母集団講習会	青少年センター	10名	
学校開放事業	小・中学校	7,017名	小学校3校 中学校4校
スポーツ少年団活動支援事業	小・中・高生	683名	15団体 団員545名 指導者138名
根室市スポーツ奨励賞表彰式	総合文化会館	62名	1団体、8個人
第1回・第2回チビっ子水泳教室	温水プール	57名	
第1期・第2期とんぎょコース水泳教室	〃	795名	
とんぎょ中級者水泳教室	〃	191名	
やまべコース水泳教室	〃	53名	
第1期・第2期のんびり水泳教室	〃	127名	
第1期・第2期・第3期・第4期らくらく水中運動教室	〃	210名	
第1期・第2期・第3期さわやか水中運動教室	〃	369名	
第1期・第2期・第3期・第4期大人の水泳教室	〃	234名	
第1回・第2回アクアビクス講習会	〃	26名	
第1期・第2期脂肪燃焼コース	〃	113名	
サブインストラクター養成講習会	〃	28名	
大人の初めてプール教室	〃	39名	
幼児ひよこさんコース	〃	13名	
幼児ぺんぎんさんコース	〃	49名	

夏休み短期水泳教室（低学年・高学年）	温水プール	143名	
マイペース教室	〃	33名	
さわやかストレッチ運動教室		210名	
温水プール無料開放事業	〃	1,133名	
第1回・第2回水泳指導者研修会	〃	6名	
総合型地域スポーツクラブ「ねむろコミュニティスポーツくらぶ」による各種事業の開催	北斗小体育館で週1回の定期活動	会員50名	三世代会員3家族
ファミリー登山	武佐岳	16名	市民も対象
春国岱自然観察と清掃活動（及び焼肉交流）	春国岱	31名	
カヌー体験	別当賀川	8名	1回実施
乗馬体験	根室乗馬クラブ	10名	1回実施
楽しいピンポンの集い	青少年センター	58名	市民も対象
楽しいミニテニス交流会	青少年センター	5名	初心者の部
子供相撲大会	屋内相撲場	6名	
歩きスキー体験講習会	総合運動公園	11名	

【施設整備関係】

事業名等	事業内容	事業費 (単位:千円)
温水プール整備事業	・温水プール暖房設備改修工事	12,604
社会体育施設整備事業	・パークゴルフ場スタート台整備工事 ・スケートリンク設備補修工事 ・市営球場整備工事 ・青少年センター天井補修工事	5,827

【図書館活動】

事業名等	開催日時	参加者等	備考
職業体験学習・図書館実習・教員研修	随時	5件 5人	中学2校/2名 高校2校/2名 教員1件/1名
各種「本展示コーナー」	随時	回数30回 展示図書3,151冊	「H29年度文学賞受賞の本

開設		展」他
一般・高齢者向け図書館サービス「図書館カフェ」	11～3月	回数 3回 (11/3・12/10・3/25) 参加者数 計153人 (図書館ボランティア・協力者 計21人)
「高齢者図書お届けサービス」	毎月	高齢者施設 7ヶ所 (老人福祉センター・特養はまなす園 他) 7施設＝ 87件/3,192冊配本
「雑誌スポンサー制度」	通年	スポンサー登録企業 6社・2団体＝14雑誌
移動図書館車の定期巡回	通年	市内 32ステーション(火～金) 巡回日数165日 利用者総件数 7,304件 貸出冊数 81,045冊
まちなかライブラリー	通年	市内7郵便局に設置 280冊配本：図書館蔵書外図書

施策評価

- 「成人式」では、新成人で組織する実行委員会により、オープニング、式典の進行を行い、また、オープニングのスライドショーなどや、式典終了後の企画・準備から実施までを行い、団体活動をとおして社会性を培うことができた。
- 青年活動に対しては、若ものの学園でスイーツやリズム&ダンスなどの講座を開催し、社会教育活動参加する機会提供に努め、また、根室市青年サークル連絡協議会が実施する交流事業や国内研修事業の支援を行っているが、今後の青年活動をより活性化するために、青年団体などと協議することが必要である。
- 別当賀夢原館は、社会教育関係団体をはじめ、各学校や少年団の宿泊研修や合宿等の活動のほか、町内会の利用もあり有効活用が図られているが、社会教育関係団体などの利用が夏期間に集中しており、冬期間の利用促進が課題となっている。
- 「舞台芸術鑑賞事業」は、総合文化会館事業協会と連携して「札幌交響楽団根室公演」の開催や、音楽分野だけではなく「東国原英夫氏講演会」を開催するなど、多方面の舞台鑑賞機会の提供をすることができた。
- 根室市文化協会と協働して「根室市文化祭」を開催し、「文芸部門」の各大会、「総合展覧会」、「ステージ部門」で、市民の創造性豊かな作品展示や舞台発表が行われ、根室のすばらしい郷土の文化が披露され、郷土文化の振興が図られた。
- 各種団体や管内の団体と連携して、「第64回写真道展根室巡回展」や「全道展道東地区展」など、全道的な作品の鑑賞機会の提供や、道民芸術祭地方祭に管内事業として取り組み、民

謡のつどいや文芸大会などで日頃の成果を発表し、市民が主体となり地域の文化振興を図った。

- 「大人のお宝ギャラリー」は、世代やジャンルを超えて互いの情報を共有し、愛好者同士や来場者との交流によりコミュニティの醸成を図るため、「LM（ライトミュージック）楽器編」と「ホビー編」を開催し、新たな分野での交流を図り、好評の声が多く聞かれた。
- 「みんなでオンステージ in ねむろ」は、日頃の活動成果の発表や参加機会の拡充を図るため、関係団体と連携して実行委員会を組織して開催し、総合文化会館大ホールを活用した発表機会を提供することができた。
- 「寿大学」や「女性セミナー」、「市民大学」では、運営委員会を組織して学習内容を協議し、社会の変化に対応し主体的に学び続けるための講座を開催することができた。
- 落石地区の分館講座では、地区の老人クラブなどと共催で、手作り講座や料理教室の開催し、歯舞地区の移動公民館講座では、新たに認知症についての学習を取り入れ開催することができた。
- 今後とも、公民館の各種事業を通して、指導者の育成・発掘や、各世代における学習ニーズに応じた新たな学習プログラムの検討、さらに、学習成果をいかに地域活動につなげていくかが課題である。
- 市内在住の考古学者である北構保男氏が所蔵していた北方資料を受納し、囑託学芸員として任用した元筑波大学教授の前田潮氏とともに、保存と公開に向けて約13万点の資料の分類整理作業を完了した。
- 市内には、国、道、市が指定する文化財をはじめ、多数の文化遺産が所在しており、その保護や管理については、関係者、外部委員と意見を交わしながら適切に進めることができた。
- 国指定天然記念物カラフトルリシジミと落石岬のサカイツツジ自生地については、カラフトルリシジミの不法採取者が逮捕されたことから、天然記念物保護対策会議を開き、関係機関との一層の連携を図り、適切な保護や管理に資するべく、定期的な巡視を実施した。
- 国指定史跡根室半島チャシ跡群のうちランネモトチャシ跡とノツカマフ1・2号チャシ跡は、草刈等の環境維持に努め、市民や観光客の来訪に配慮した整備を実施した。
- 「市民にわかりやすく」を目標に市内周辺の自然や歴史の調査・研究を行い、その成果を自然観察会や史跡見学会、講演会等の各種事業を通じて、市民に学習機会を提供することができた。
- 子どもたちに「ふるさと根室」を学ぶ機会として、学芸員が学校等で解説する講座を積極的にを行い、体験等を通じて郷土学習の普及を図ることができた。

また、「子どもの日のつどい」と連携して企画展「根室の動物大集合」を実施した。

- 大地みらい信用金庫本店等市内3箇所に設置した、資料館のサテライト展示である「ねむろマチカドミュージアム」の展示内容を6ヶ月ごとに更新し、史跡や文化財等の情報を市民に幅広く周知することができた。
- 当市には天然記念物、史跡など文化遺産が多数あり、これらを活用した自然観察会や史跡見学会を開催し、市民の学習のために有効活用することができた。
- 総合文化会館の整備については、6月から翌年1月まで行った屋上防水改修や自動給水装置等の整備など、施設の維持整備を行い施設の延命化を図ることができた。
- スポーツ環境の整備については、「アスリート・アーティスト応援事業実施要綱」を改正し、助成対象者・大会・基準の拡大、助成申請手続きの簡素化を講じたほか、事業項目に競技人口の増加や技術力向上に資する講習会・講演会等の開催を加えたことにより、アスリート育成のさらなる推進を図った。
- 14年ぶりに根室市で開催された「第72回国民体育大会軟式野球競技北海道ブロック予選会兼北海道体育大会」は、全道各地から24チーム364名の参加があり、市としても、大会前の球場整備や、当日の大会運営等の支援をしたが、今後、全道レベルの大会を開催するためには、老朽化する市営球場の計画的な整備を進める必要がある。
- 第1回最東端ねむろシーサイドマラソンは、新たな試みとして、完走賞を「花咲かに」にしたことをはじめ、給水・給食ポイントの充実、会場内での根室名産市の開催などにより、1,039人（市外748人・72%）のエントリーとなり、北方領土返還要求運動や地域振興に資する情報発信につながった。
- 子どもたちの体力向上と健やかな成長を目的に開催している小学生陸上競技大会は、57名の参加により、トラックとフィールドで7種目の競技を実施したが、参加者が年々減少しているため、今後、実行委員会において参加者の維持・増加に向けた検討を進める必要がある。
- 総合体育祭は年に一度のスポーツの祭典として、12種目の各種スポーツ大会を実施した。参加者も前年度より増えたが、人口減や少子高齢化の進展により、競技人口や運営役員が減少しており、今後も参加者の維持・増加に努める必要がある。
- 「総合型地域スポーツクラブ」として8年目の活動を開始した、「ねむろコミュニティスポーツくらぶ（ぶらっと）」の活動は、定期活動をはじめ一般市民を対象とした乗馬・カヌーなどの野外活動を通し、多世代交流や地域コミュニティの輪が広がった。今後も会場の確保や指導者育成など、自主活動を尊重しながら、支援に努めていく必要がある。

- 小学生スケート教室は、1・2年生の初心者を対象にスケートの基本を指導し、冬季スポーツの楽しさを体感させることができたとともに、教室終了後は、受講者が市スケート大会に参加するなど、大きな成果があった。
- トレーニング理論や機器の操作方法を教えるトレーニング機械指導者養成講習会は、毎月1回開催している。健康志向の高まりや、夏季が短い根室市の気候から、室内トレーニングの利用者が増えており、今後、利用者ニーズに応じた機器の更新について検討する。
- 地域ぐるみでの健康づくりとコミュニティの向上を目的に実施している「ふまねっと」については、サポーター養成講習会を3年連続で開催し、新たに24名の指導者が誕生したほか、有資格者で組織する「ふまねっと根室」の会員拡大にもつながった。
- 市民福祉部との連携事業である「ふまねっと教室」や「元気アップ栄養・運動教室」は、教室修了後に既存の団体に加入し、継続して活動する参加者や、自ら高齢者の健康づくりに積極的に取り組む参加者が増えたことから、今後も継続開催していく必要がある。
- 社会体育施設整備については、平成29年度においては2事業を実施し、利用者のスポーツ環境の整備を図った。特に温水プール暖房設備改修工事により、温水プールが使用できない期間において、航空自衛隊のプールを借用したことにより、利用者ニーズに対応することができた。社会体育施設の多くが老朽化している中、今後とも各種制度の活用も視野に入れながら、安全性や緊急性、市民要望を考慮しながら計画的に施設整備を進めていく必要がある。
- 総合体育館建設については、基本方針の策定に向け、根室市総合体育館整備市民委員会で協議・検討を進めているほか、平成29年度には、基本方針策定の基礎資料とするための「市民・利用者の意向調査」を実施した。
- 温水プールについては、平成29年度から教育委員会の直接管理となったことから、利用者や競技団体から直接ご意見やご要望を聞き、利用しやすい環境を整えつつあるが、今後も利用者や競技団体とともに、魅力ある温水プールづくりに向け、検討を進めていく必要がある。
- 水泳の普及・振興と水泳の生活化を推進するため、本年度も無料開放や臨時開館事業を実施し、利用機会の増加を図った。また、市民から寄せられる要望を多く取り入れ、水泳を幅広い年齢層に親しんでもらえるために、幼児3、4歳（年少）から大人までを対象とした各水泳教室等を実施した結果、参加者が前年度と比較し、70名の増加が図られた。今後も更なる利用者の拡大に向け、利用者ニーズを把握し、参加者が楽しめる多種多様な事業、教室を検討する必要がある。

■ 図書館ボランティアと協働で開催している大人・シニア向け図書館サービス「図書館カフェ」は、他の事業との日程調整等から3回の開催に留まったが、1開催あたりの参加者が増える状況となった。

■ 読書機会と読書環境の提供と読書普及を図る高齢者施設への「高齢者図書お届けサービス」は、7施設で展開している。

市内の高齢者施設のご理解とご協力を得て、毎月定期的に配本を行っている。

■ 「雑誌スポンサー制度」は登録促進PR等の効果により、6社・2団体＝14誌のスポンサー登録をいただき、今年度中の新規登録は2社・1団体の増となった。

さらなる資料提供の拡充と図書館サービスの充実のため、企業・団体等へ「雑誌スポンサー制度」の宣伝効果と地域貢献に結びつく活動であることを広く周知し、登録を働きかける。

■ 本年8月から「生活の身近なところで気軽に本に触れることができる環境づくり」を目的に、市内7郵便局のスペースをお借りして、「まちなかライブラリー」を設置した。

貸出手続きが不要であり、気軽に身近な郵便局で利用することができるため、市民の認知度も向上し、郵便局員の方々のご協力により利用率も順調に推移している。

今後、市内全局で展開できるよう、協議を行う。

■ 今年度は、対前年度比、人口は外国人住民を含めて556人減、貸出数3,590冊減となり、175,536冊の貸出数となった。

資料の充実、事業展開、連携・協働等における創意工夫を行い、今後もより一層利用促進に努める。

学識経験者の意見（総評）

○ 松 井 信 輝 氏

（１）「確かな学力向上」に向けた取組みの推進

- ・ 根室市の教職員の年齢構成は偏り若年教員が多い現状から、教職員人事を通じて年齢構成の適正化を進め、教育実践力・諸課題解決能力を持つ教員の育成に努めて行く必要がある。
- ・ 「根室市確かな学力向上に関する取組方針」に基づいた、家庭での学習習慣の必要性を保護者に訴えた結果はどうだったのか。児童生徒の生活習慣が変化する中、結果の検証が必要ではないか。また、「生活リズムチェックシート」を活用し、家庭での学習習慣や規則正しい生活習慣の定着に取組んだ結果の検証も必要であり、ゲーム関係やスマホ等に使う時間が多い中、家庭との連携や個に応じた指導が必要である。
- ・ 指導体制の充実・確かな学力の定着・習熟度別指導等に必要な教員を配置したことは評価できる。通年で配置できるように人材確保に向けて要請行動を一層努められることを望みます。
- ・ 夏休み学習サポート教室が参加児童生徒の減少と効果が限定的であったとして、事業が終了した。主体的に学ぼうとする児童生徒がいる限り、少人数でも学習する機会を保証してあげる必要がある。
- ・ 標準学力調査の結果に基づき、根室市学力向上プロジェクト推進会議で調査結果を分析し、学習指導の充実に努めていることは評価できる。その結果を検証する必要がある。
- ・ 体力・運動能力、運動習慣等の調査では、中学校で全種目とも全国平均を下回る結果から、体力・運動能力向上に向けた具体策を講じる必要がある。

（２）「豊かな人間性の育成」に向けた取り組みの推進

- ・ 「根室市いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域・関係団体と連携していじめ等に毅然と対応することや、校内指導体制を徹底し、児童会・生徒会が主体的に考える機会や課題解決に向けての自治力を図る取組の機会を持たせることが必要である。また、法務局の協力を得て人権感覚身につけさせることも考えられる。
- ・ 児童生徒の問題行動や虐待の疑いに対し関係機関と連携を取り、迅速かつ適切な対応をしている。思いやりの心を体得し豊かな人権感覚を身につける施策を望みます。

(3) 特別支援教育の充実

- 特別支援教育を1校集中型ではなく、各学校への分散型で行っていることは評価できる。特別な支援を要する児童生徒に対し支援ができる教育環境の整備、指導体制の充実を図ってほしい。
- 子育てファイル『りんくす・ねむろ』を乳幼児から中学生まで配布されていることは評価できる。家庭での有効活用・教育ニーズに応じた利用のために、一層の支援を図ってほしい。
- 乳幼児から一貫した支援を目指す「根室市育ちと学びの相談室『りんくす』」が設置されていることは評価できる。専門員や社会福祉士とともに、相談室の機能が十分に発揮できることを望みます。

(4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実

- 「根室市立小中学校適正配置計画」の説明会が開催され、そこで出た様々な意見を参考にし、教育効果が高められる教育環境の整備が早急に進められることを望みます
- 通学路安全プログラムに基づいて、関係機関と連携し通学路の危険箇所を点検し安全確保を図っている。点検を定期的に行い、家庭に周知し注意を促したり通学路の見直しを図る必要がある。

(5) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実

- 「教えて地域の先生」事業は、「子どもは地域で育てる」環境づくりに大いに貢献している。ボランティア講師を確保するために、地域の先生をデータベース化することを考えてはいかがか。
- 働く保護者が増えている現状では、放課後の居場所作りとして安全に遊べ、集団活動ができる放課後教室・児童教室が運営されていることは、保護者にとって安心できる。指導体制を整えるとともに、地域との交流・世代間の交流を積極的に取り組んでいただきたい。
- 小学校1年児童に対しての「セカンドブック事業」は、読書に親しむきっかけや読書習慣の形成、読書意欲の向上に寄与し好評である。継続して取り組んでいかれることを望む。
- 「子ども会リーダー研修会」は、社会性や責任感、協調性を養いリーダー育成に寄与している。町内会活動やボランティア活動等に活動の場があることは、成長する絶好の機会となるので大切にしてほしい。

(6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実

- 成人式を、新成人で組織する実行委員会が主体となって企画・準備・式典の進行を行うことは、成人としての自覚・社会性を培うなど、将来の根室を背負って立つ有効な機会と捉え、継続することを望む。
- 「根室市文化際」は、文芸部門・総合展覧会・ステージ部門など創造性豊かな作品や舞台発表が披露されるなど、郷土文化の振興に大きく寄与している。市民の発表の機会を大切にしていきたい。
- 「寿大学」等で運営委員会を組織され、学習内容を協議し、主体的に学び続けるための講座を開催するなど評価できる。市民の学びの機会を大切にしていきたい。
- 小学生陸上競技大会については、参加者が年々減少傾向にあり大会の維持・増加に向けた検討を進めようとしている。陸上競技に取り組む機会が少ない中、継続した事業として開催を望む。
- 根室市が誇る歴史遺産・天然記念物の動植物の保存や保護に努められ、観察会・見学会・講演会等で市民に学習の機会を提供していることは、大変好評である。根室市の貴重な文化財・文化遺産の保護・管理に努めると共に、様々な形での情報発信に努めてほしい。
- 市内3か所に「根室マチカドミュージアム」が設置され、史跡や文化財等の情報を市民に周知されていて、好評である。さらに、広報「ねむろ」等で周知してはどうか検討してほしい。
- 「総合型地域スポーツクラブ（ぶらっと）」の活動は、一般市民を巻き込んだ輪の広がりを見せている。会場の確保や指導者の育成、自主活動を尊重し、支援に努めて行く必要がある。
- 「まちなかライブラリー」を市内7郵便局に設置され、市民が気軽に本に触れる環境ができたことはとても評価できるので、市内全郵便局に設置されることを期待する。
- 健康志向の高まり等でトレーニング機械指導者養成講習の受講者が増加傾向にあるということから、利用者のニーズに応じた機器の導入を検討してほしい。
- 地域ぐるみの健康づくりとコミュニティの向上のため、「ふまねっと」の普及に努め効果を上げている。高齢化が進む中、他の部署と連携を取り健康づくりに取り組んでいただきたい。
- 社会体育施設の多くが、老朽化が進んでいるという。早急に安全性や緊急性を最重要事項として整理し、計画的に施設整備を進めていただきたい。また、総合体育館の建設計画が進められているが、スポーツ振興の拠点となるので早急に進めていただきたい。

学識経験者の意見（総評）

○ 佐藤 美喜夫 氏

（1）「確かな学力向上」に向けた取組みの推進

- 児童、生徒が自ら学ぶ喜びを認識しているかが問われているのではない。学校のみならず家庭や他の学習機関（学習塾など）で、「わかる、できる、楽しい授業」「自ら学ぶ意欲」「授業力」の3本の柱をいかに浸透していくかが、大切ではないかと思います。
- 指導体制の充実を図るために、学力向上等補助教員を市内4校に1名配置されていますが、習熟度別指導、チーム・ティーチング指導、放課後補習指導や長期休業中の補習等を行っていることは大変評価できます。人材確保に課題が残る現状を打開していただきたい。
- 語学指導の充実では、英語授業が外国語指導助手によって行われていることに評価します。今後は、英語による弁論大会などの実施を計画してはどうでしょうか。
- 夏休み学習サポート教室が、参加者の減少により廃止されたことは残念に思います。何らかの形で、また開催することを望みます。
- 健全な身体（体力）作りに取組み、ねむろの子供達がより健康で、学力が向上することと考え、体力や運動機能向上に更なる対策を期待します。
- 「生活リズム」のチェックは、子ども達も学力に大きく影響していると思います。SNSなどの通信が発達している現在、スマホやTVゲームに多くの時間が費やされているようです。学校と家庭が連携し児童・生徒の家庭学習の重要性を浸透させることを強く望みます。

（2）「豊かな人間性の育成」に向けた取組みの推進

- スクールカウンセラーの配置により、生徒や保護者の悩みなどに関し高い評価が出ているようで、大いに評価できます。今後は他の学校にも配置できるよう取り組んで下さい。
- 「いじめ」の問題は、児童・生徒の人格形成にあたり、小中学校が一番大事な時期だと思います。そのために学識経験者や人権擁護に詳しい方の講演会を計画してみてはどうでしょうか。

- ・ 北方領土返還運動の原点の地である根室において、北方領土の歴史を学ぶことは大切なことと思いますが、今後は戦争による領土問題や失われた命の尊さを子ども達に伝えてみてはどうでしょうか。それを認識した上で、戦争をしないことを感じ取って欲しいです。

(3) 特別支援教育の充実

- ・ 特別支援を要する児童に対し、全ての施策に大きな評価をいたします。児童ひとりひとりや各家庭のニーズに応じた対応を期待します。

(4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実

- ・ 各家庭で水洗化が進み家庭のトイレでも洋式トイレが主流となっています。市内の小中学校において、いまだ洋式化（ウォシュレット）が行われていない学校があると聞いています。清潔感のあるトイレがあることは、環境的にも衛生面においても大変重要と考えます。少しでも早い整備を望みます。
- ・ 学校給食は子供達にとって大変楽しみな時間の一つです。地場食材や道産食材を活用した「ふるさと給食」が年 4 回実施されていますが、あと 2 回ほど増やしてはどうでしょうか。

(5) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実

- ・ 留守家庭児童の増加に伴う留守家庭児童会の定員を増やしたことは大変有難いことと思います。それに対応すべく指導員の確保が年々厳しい状況になり、西浜児童会館が休館したことに課題は残ります。今後の指導員の育成にも期待します。
- ・ 読書活動の推進における各事業に対し大変評価できます。特に「ブックスタート事業」や「セカンドブック事業」によって、小学 1 年生児童に本を読む楽しさを与えているものと考えられます。

(6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実

- ・ 別当賀夢原館の利用状況では、夏期を中心として利用されていますが、冬期の利用に課題が残っているようです。冬期は道路状況、天候（気温の低下）の悪化があるため、市内から時間のかかることが大きな要因と思います。周辺整備と施設の暖房等の整備を考えてはいかがでしょうか。

- 郷土「ねむろ」の歴史や文化は、北海道の中でも歴史のあるものと確信しています。その中で、文化の伝承・保存は大切なものと考えます。例えば、芸術部門では絵画などの有名な作品を展示する際多くの負担金が生じると聞きました。また、講演会などを開催する時も同様のことがあるそうです。多くの市民に文化の大切さを伝える観点からも予算を計上していくことを望みます。
- 今後、人口減少と少子高齢化を考えるとスポーツ振興と施設の整備は反比例すると思います。そこに費やす経費を、スポーツに勤しむ方への環境整備や指導者の誘致・育成に努めたほうが良いと考えます。
- スポーツ少年団の指導者派遣を考え、各体協加盟団体に指導者リストを提供していただき、どの少年団で指導者を必要としているかを調査してはどうでしょうか。

学識経験者の意見（総評）

○ 佐藤孝行氏

（１）「確かな学力向上」に向けた取組の推進

- 根室市は、管内においても若年教員の割合が、多いと伺っております。どの学校でも、教員のみなさんは根室の子どものために一生懸命、教育活動を行ってくださっていますが、年齢構成の適正化には、今後も努めていただければと思います。また、広域人事などの人事交流を通して、若手教員の指導力向上にも努めていただければと思います。
- 学力向上等補助教員の配置は、児童生徒個々に応じたきめ細かな指導につながり、学力向上につながる効果的な取組の１つだと思います。人材確保の難しさはあると思いますが、根室の子どもたちのために、教員の確保に力を注いでいただけたらと思います。
- グローバル化に対応した外国語活動の充実に向けて、外国人指導助手や講師の十分な派遣を今後も進めていただきたいです。
- 子どもの遊びが多様化しており体を動かす機会が減少していると感じます。生活には車が欠かせない地域ですが、体力・運動能力を向上させるために、PTAとしても、登下校の車での送迎について考え、徒歩通学を奨励するなどの方法を考えていく必要があります。学校と家庭で連携して取り組んでいくことが大切であると思います。

（２）「豊かな人間性の育成」に向けた取組の推進

- いじめの問題に関しては、スマートフォン等により陰湿化していることや見えにくさが増していることを報道等で耳にします。子どもが親や先生にすぐに相談できる関係性を築いておくことが大切だと思います。また、利用の仕方については、各家庭で約束事について確認していただくよう、学校と連携してPTAからの働きかけも必要であると考えます。
- 不登校の問題に対しては、適応指導教室等の対応を今後もお願いしたいと思います。引きこもり傾向の強い児童生徒への対応に関しましては、学校と家庭の連携だけでは難しい状況があると思われます。行政側からの適切な家庭への働きかけも進めて頂けたらと思います。
- 不審者による声かけ事例が多数学校から連絡がありました。先生方に巡回をしていただいたり、警察にも巡視していただいたりしましたが、児童生徒の安心安全を守るため、より一層の安全体制の確立をしていただきたいと思います。

(3) 特別支援教育の充実

- 特別支援教育支援員や介助業務員の配置は、支援を必要とする児童生徒の学習等において効果的な取組であると思います。手厚い指導が受けられるように、支援員の確保には十分に力を注いでいただきたいと思います。
- 子ども発達支援事業などの専門的支援を受ける機会は、とても重要だと思います。今後もこのような機会を確保できるように努めてほしいと思います。
- 「個別の教育支援計画 りんくす・ねむろ」の全家庭配布による取組は、価値があると思います。活用等への理解度がより高まるよう、根室市からの一層の働きかけをお願いいたします。

(4) 教育効果を高める教育環境の整備・充実

- 各学校の施設の耐震化・老朽化対策は、児童生徒の安全を守るためにも極めて重要なことです。計画的な更新をこれからもお願いします。
- ICTの利活用について、タブレットなど現代的な教育環境の整備を進めていただきたいと思います。

(5) 地域で子どもを育てる環境づくりの充実

- 留守家庭児童会は、仕事をしている保護者としては大変ありがたい存在です。指導員の確保等、難しい部分も多々あると思いますが、体制の充実に努めていただきたいと思います。
- 児童生徒が地域から学ぶことは大変意義があることと考えます。「教えて地域の先生」等の地域人材の活用をさらに進めていただき、子どもたちの参加意欲を喚起する企画を実施していただけたらと思います。
- 小学校1年生児童に対して行われた「セカンドブック事業」は、親子で本を選ぶなど、親子の会話の広がりにもつながり、大変意義のある事業だと思います。活字離れが叫ばれる昨今、大変素晴らしい取組でありますので、今後も継続して取り組んでいただきたいと思います。

(6) 歴史・文化・スポーツ振興と社会教育活動の充実

- 成人式は、新成人で組織する実行委員会が主体となって作り上げ、成人としての自覚や、将来の根室を背負って立つ等の意義ある式となるように、今後も進めていただきたいと思います。

- 別当賀夢原館は大変良い施設だと伺っております。近年バス代が高騰しているため、学校の予算では利用が難しいと聞いております。バスを使い利用出来るよう予算を考慮していただきたいと思います。
- 伝統文化・郷土芸能体験プログラムや子ども書き初め教室など地域の人材を有効に活用した事業は、児童生徒にとって有意義な体験学習の場となっていると思いますので、今後も継続していただきたいです。
- 市文化祭やコンサートなど、質の高い芸術・文化にふれる機会が増えるように、とりわけ児童生徒に、本物に触れる機会が提供されることを望みます。
- 「ふるさと根室」を知る機会として、学芸員が学校等に出向いて行う出前講座は、体験等もでき、大変良い取り組みだと思えます。
- 小学生スケート教室は、初心者の児童にとって大変成果があり素晴らしい取組だと思えます。今後も継続していただきたいと思えます。また、根室市営リンクを用いた各小学校での授業での活用を進めていただきたいと思えます。
- 温水プールの児童生徒の利用拡大に向けて、利用機会の増加や、各種水泳教室の実施に努めていただきたいと思えます。
- 社会体育施設の整備に関して、老朽化の進んでいる施設についての安全性を最重要事項として整備をお願いいたします。
- 総合体育館の建設は、スポーツ活動の拠点とすることができるだけでなく、各種大会等の誘致にもつながると思えます。協議・検討を重ね、よりよい施設になるよう進めていただきたいと思えます。